大分県立図書館

ティーンズだより

通巻８号　２０２３年　夏号

本を知ろう、本を読もう

所蔵場所：請求記号

『グーテンベルクのふしぎな機械』

ジェイムズ・ランフォード／作　千葉 茂樹／訳
あすなろ書房　2013年

かつては、人の手によって書き写されていた本の作り方を、金属の活字と印刷機によって変えたのがグーテンベルクでした。彼が、印刷された本を作っていくまでの工程を知ることができる絵本です。

子ども室：E/グ

『アリスのうさぎ　ビブリオ・ファンタジア』

斉藤 洋／作　森泉 岳土／絵
偕成社　2016年

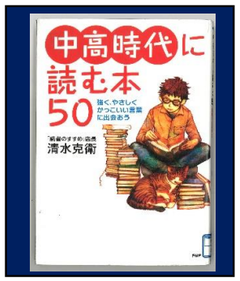
ある事情により、急きょ図書館のアルバイトを始めることになった「わたし」は、児童読書相談コーナーを任されます。そんな「わたし」は、ないはずの本を探す少年や『不思議の国のアリス』が好きな少女から、不思議な話を聞きます。

子ども室：913サイ

『中高時代に読む本50

強く、やさしく、かっこいい言葉に出会おう』

清水 克衛／著
PHP研究所　2011年



中学生のころまで、読書が嫌いだった書店の店長がおすすめの本の内容と感想を述べていきます。小説や自己啓発本などの様々な本が「君に成功を送る」というような5つのテーマごとに紹介されています。

子ども室：019/2011

『本のことがわかる本1

調べよう!　文字のはじまりと本の歴史』

稲葉 茂勝／文　能勢 仁／監修
ミネルヴァ書房　2015年

約5000年前に文字が誕生してから、世界各地で様々な文字が使われ、文字を伝える道具も変化してきました。そこから、現代にいたるまでの意外と知らない本の歴史を学んでいきましょう。

子ども室：020/2015

書名	著者	出版社	出版年	所蔵場所：請求記号
・図書館で出会える１００冊	田中 共子／著	岩波書店	2009	子ども室：019/2009
・虹いろ図書館のへびおとこ	櫻井 とりお／著	河出書房新社	2019	子ども室：913/サク
・放課後の読書クラブ	小手鞠 るい／著	偕成社	2023	子ども室：019/2023

まだまだ、あるよ

新書、読んでみる？　テーマ：言葉

岩波ジュニア新書

『通訳になりたい!　ゼロからめざせる10の道』
松下 佳世／著
岩波書店　2016年

エンターテインメント通訳、医療通訳、エスコート通訳など通訳にはさまざまな種類があります。そうした通訳者たちが、どうやって通訳になったのか、それぞれの仕事内容、その中で感じるやりがいや苦労を一冊にまとめた本です。

一般YA：801.7/2016

通訳について知りたいあなたに

筑摩プリマー新書

『読み上手　書き上手』
齋藤 孝／著
筑摩書房　2008年

どう活字を読みどう文を書いていけばいいか、といったポイントが詰まった解説本です。お気に入りの本のポップを書いたり、三色ボールペンを使って本を読んだりする課題をこなしていきましょう。

一般YA：810/2008

読み方書き方を身につけよう

知りたい!あの時事問題　テーマ：環境問題

『グレタ・トゥーンベリ　GRETA THUNBERG

信念は社会を変えた！6人のインタビュー1』

ジェフ・ブラックウェル＆ルース・ホブデイ／編　橋本 恵／訳
あすなろ書房　2020年

一般YA：519/2020

気候変動危機とたたかうため、当時15歳だったグレタは「気候のための学校ストライキ」と書かれたプラカードを持って、スウェーデンの国会議事堂の前に座り込みました。その後世界を動かしていく彼女の意志、ストライキを始めた理由、これまでの経緯を知ることができます。

『地球がもし100cmの球だったら　子どもSDGs版』

永井 智哉／文　木野 鳥乎／絵
世界文化社　2022年

地球を100cmの球に例えると、人間は0.1ミクロンほど、10万倍の顕微鏡でようやく見ることができる大きさです。そんな小さな人間が大きな地球に、オゾン層の破壊や砂漠化などの影響をもたらしていることが手に取るようにわかる一冊です。

子ども室：519/2022

発行　：　２０２３年６月１９日（月）大分県立図書館子ども室　大分市王子西町１４番１号　０９７－５４６－９９８１